

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	ひぬまきっず		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 5日		令和7年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 5日		令和7年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門的支援を理学療法士，言語聴覚士が実施している。	・希望も多いので，可能な限り，多くの利用できるよう，理学療法士や言語聴覚士と曜日の固定がないように日程調整している。 ・個別療育や集団療育の内容が共有できるよう記録やカンファレンスを実施している。	・希望に応えられるよう，言語聴覚士の実施回数を増やせるよう努める。
2	・利用児が通所を楽しみにしている。	・得意なことや楽しみの中で考え，成長していけるように活動内容やプログラムを組み立てている。	・表現活動（絵画，造形，音楽，ダンス等）の充実を図っていく。
3	・環境や体制の整備ができています。	・利用児の特性を考慮した人員・設備配置をしている。 ・相談支援や放課後等デイサービス，成人事業所など将来的ニーズに対応できるよう法人全体で体制整備に努めている。	・現在の状況を維持していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・面談の機会が少ない。	・日々の生活状況の報告の際，保護者とのコミュニケーションを取っていた。 ・療育の現場に人員を優先していた。	・定期的に面談日を設け，面談の機会を設定していく。
2	・療育活動を見ていただく機会が少ない。	・親子分離での療育のため，見ていただく機会が少ない。	・フリー参観を行い，活動の様子を見ていただく機会を作る。 ・マチコミにて活動の様子を閲覧できるようにしていく。
3	・保護者同士の交流の機会が少ない。	・働いておられる方も多く，交流の場の設定が難しい。	・ご希望される方もおられるので，交流会を設定していく。